



# ディレクトリコネクタの概要

- [ディレクトリコネクタの概要 \(1 ページ\)](#)

## ディレクトリコネクタの概要

ディレクトリコネクタは、クラウドへのアイデンティティ同期のためのオンプレミスアプリケーションです。Control Hub からコネクタソフトウェアをダウンロードして、ローカルマシンにインストールします。

をディレクトリコネクタ使用すると、active directory 内のユーザアカウントとデータを維持できます。そのため、active directory は、真実の単一ソースになります。オンプレミスに変更を加えると、クラウドに複製されます。

表のすべての機能、説明、および利点を参照してください。

機能	説明と利点
容易に操作できる GUI	ダッシュボードには、同期のスケジュール、概要、同期のステータス、ディレクトリコネクタのステータスが表示されます。サインインすると、いつでもダッシュボードを表示できます。
クラウドと同期する前にリハーサルを実行する	クラウドで、ディレクトリへの変更を実際に行う前に、変更のリハーサルを実行します。次にレポートを実行して、その変更が予測どおりの結果となることを確認します。
完全同期と差分同期	ディレクトリ全体を同期できます。または、変更の差分のみを同期して処理負荷を軽減し、同期の時間を短縮することもできます。

機能	説明と利点
複数のドメイン(単一のフォレストまたは複数のフォレスト)の同期	ディレクトリコネクタは、1つのフォレストまたは複数のフォレストの下で複数のドメインをサポートします(AD LDS は必要ありません)。複数の Active Directory ドメインを持つ企業に関しては、各ドメインに Active Directory をインストールし、組織に対してドメインをバインドします。その後、Webex に基づき、各ユーザーの同期を開始します。Control Hub は、複数の Directory Connectors のステータスの同期を表示することでステータスを反映します。これにより、特定のドメインに対して同期をオフにしたり、高可用性展開で Directory Connectors を非アクティブ化したりできます。
スケジュールされた同期	同期のスケジュールを日、時間、分単位で設定できます。
Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) のフィルタ	LDAP 検索条件を定義し、効率的にインポートを行います。
Active Directory 属性マッピング	Microsoft Active Directory の属性を Webex クラウドの対応する属性にマップします。Active Directory の設定に関連する属性をマッピングし、クラウドにマッピングするカスタム属性を定義することもできます。オンプレミスの属性は、ユーザーアカウント情報、Webex Teams の enterprise 電話番号、ルームリソースの SIP アドレス、およびその他のユーザの連絡先カードデータ(役職、部署、マネージャなど)など、クラウド内のさまざまなデータを形成します。

機能	説明と利点
<p>オンプレミスのルームリソースと Cisco Webex Calling (旧称 Spark Call) (クラウド PSTN) ユーザおよびエンタープライズ連絡先の社内ディレクトリ Webex (ライセンスなし)</p>	<p>組織の一部がコールサービス Cisco Webex Calling (旧称 Spark Call) にクラウド PSTN を使用している場合、またはオンプレミスのルームデバイスがある場合、この機能を使用 Cisco Webex Calling (旧称 Spark Call) すると、ユーザは自分の (クラウド pstn) 電話またはルームリソースから企業の連絡先をディレクトリで検索できます。</p> <p><b>ルームリソース</b></p> <p>ルーム情報を同期した後、設定されたマッピングされた SIP アドレスを持つオンプレミスのルームデバイスは、クラウドに登録されたルームデバイス (Cisco Webex Room デバイスや Cisco Webex Board など) の検索可能なエントリとして表示されます。</p> <p>ユーザが Cisco Webex Room デバイスまたは Cisco Webex Board で検索を実行すると、SIP アドレスを使用して設定された同期されたルームエントリが表示されます。そのエントリの Webex デバイスからコールを発信すると、そのルーム用に設定された SIP アドレスにコールが発信されます。</p> <p><b>発信中</b></p> <p>ユーザは、Webex アプリ連絡先に加えて、企業の連絡先にコールを発信できます。をディレクトリ コネクタを使用して、企業のユーザとその電話番号が Webex 組織に追加されます。この機能を使用するには、Webex サービスのライセンスを取得する必要はありません。</p> <p>にライセンスされていない Webex ないユーザは、URI または Cisco Webex Calling (旧称 Spark Call) Webex 介して同期された電話番号がある限り、ディレクトリ コネクタユーザの電話機から実行されたディレクトリ検索に表示されます。コール機能は、両方のタイプのユーザで同じように動作します。この機能は、電話番号のみの連絡先の編集ダイヤル機能も提供します。</p> <p>[連絡先 (contacts)] 検索結果:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連絡先にダイヤル可能な URI (Webex SIP アドレス) と電話番号が設定されている場合、連絡先との uri associated が表示されます。</li> <li>連絡先にダイヤル可能な URI がなく、電話番号が付いている場合は、電話番号が表示されます。また、[edit dial] ソフトキーもあります。</li> <li>連絡先がない場合は、ディレクトリには表示されません。</li> </ul>

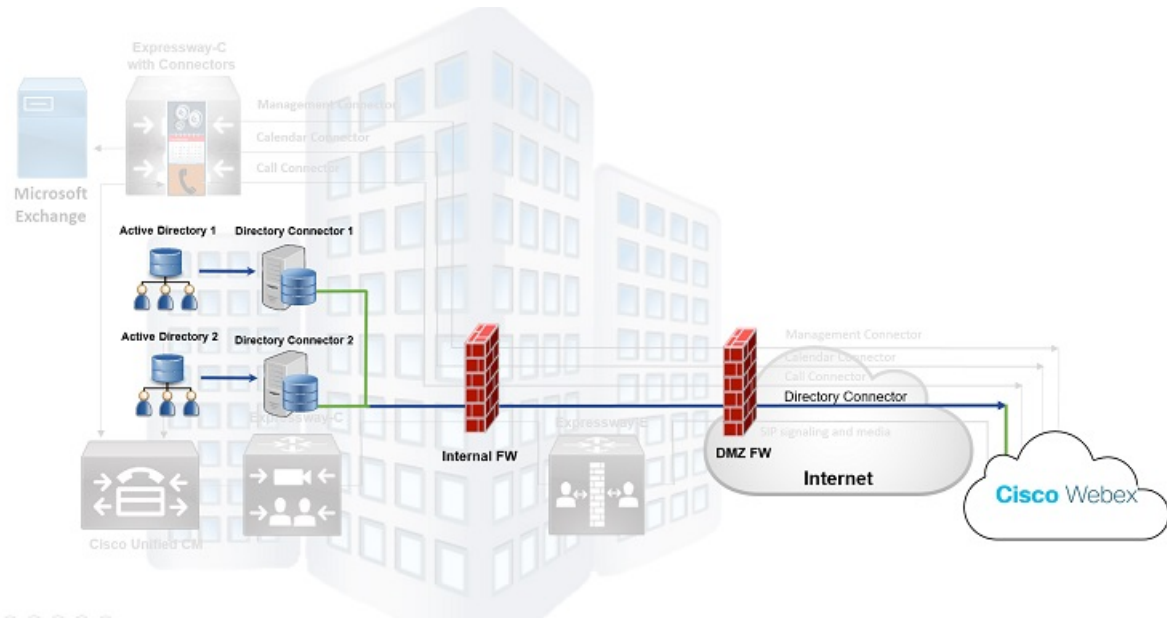
機能	説明と利点
イベントビューア	イベントビューアを使用して、同期に問題があったかどうかを確認します。
診断ツールおよびトラブルシューティング	組み込み診断ツールを使用して、Cisco Directory Connector の導入をトラブルシュートできます。同期が正しく機能しない場合は、設定またはネットワークエラーが発生している可能性があります。このツールは、サポートに連絡する前にエラーを診断できるように、Active Directory への接続をテストします。  ディレクトリコネクタでのトラブルシューティングを有効にすると、テクニカルサポートに送信できるログが作成されます。
自動アップグレード	をインストールディレクトリコネクタすると、新しいバージョンのソフトウェアが使用可能になるたびに通知が送信されます。新しいバージョンがリリースされたときに常に最新バージョンのソフトウェアを使用できるように、自動アップグレードを設定できます。
高可用性	メインコネクタまたはそれをホストするマシンがダウンした場合のバックアップとして、複数のコネクタを設定できます。

ディレクトリコネクタは、次の3つの領域に分けられます。

- **Control Hub** は単一インターフェイスで、ユーザーの表示、ライセンスの割り当て、Directory Connector のダウンロードなどの Webex 組織のすべての側面を管理します。また、ユーザーがユーザーの企業アイデンティティプロバイダーを介して認証したい場合や、Webex アプリにEメール招待を送信したくない場合に、[シングルサインオン \(SSO\)](#) を構成します。
- 管理インターフェイスは、信頼できる Windows サーバにControl Hubダウンロードしてインストールするソフトウェアです。ディレクトリコネクタ複数の Active Directory ドメインの場合は、同期するドメインごとにソフトウェアの1つをインストールできます。このソフトウェアを使用すると、同期を実行して Active Directory のユーザアカウントを Webex にも作成できるほか、同期のステータスを表示および監視し、Directory Connector サービスを設定できます。
- **ディレクトリ同期サービス** は、Active Directory を照会して、コネクタサービスおよびディレクトリコネクタに同期するユーザとグループを取得します。

ディレクトリコネクタのアーキテクチャについては、以下の図を参照してください。

図 1: ディレクトリコネクタ向けアーキテクチャ





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。